

2016 - 17年度 RI テーマ



人類に
奉仕する
ロータリー

Rotary International
国際ロータリー会長
ジョン F. ジャーム



四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

良き出合いを大切に！

第2660地区
八尾東ロータリークラブ
YAO EAST ROTARY CLUB
●創 立：1973年2月23日
●会 長：中澤 剛
●幹 事：高橋 広一
●会報委員長：上山 惣太

今週のプログラム

第2113回例会

- ① 開会 点鐘
- ② ソング 「奉仕の理想」
- ③ ビジターの紹介
- ④ 会務報告
「会長の時間」「幹事報告」
- ⑤ 委員会報告
「出席報告」「各委員会」「ニコニコ報告」
- ⑥ 第3回クラブフォーラム
社会奉仕委員会部門
堀内 伸也社会奉仕委員長
- ⑦ 閉会 点鐘

*11/26(土) 第一回広報委員長会議

於：薬業年金会館 301号室
登録9:30～ 会議10:00～12:00
辻田 摂広報・雑誌委員長 出席予定

来週の予定

第2114回例会 12月2日(金)

- ★例会前：12月度定例理事会
- ☆卓話 「卓話の内容」 山田 哲男会員
- ☆12月誕生月祝 石川会員、森田会員、坂原夫人
- ☆12月結婚記念日祝 谷村会員

前週の例会記録

2016年11月18日(金)

出席報告

例会数	会員数	出席数	出席率	備考
第2112回	29名	19名	82.6%	出席義務免除 7名(出1)
第2110回	29名	20名	87.0%	補 填 4名

ニコニコ箱

- 大橋会員、卓話楽しみにしています。
中澤 剛会員
- ・大橋R財団委員長、ご苦労様です。
・前回欠席のお詫び。 奥田 長二会員
- 本日卓話よろしくお願ひします。大橋 秀造会員
- 大橋さん、本年度財団委員長ご苦労さんです。
池本 繁喜会員
- 大橋さん、卓話ご苦労様です。欠席で拝聴出来ず
残念です。 鈴木 洋会員
- 大橋会員、卓話楽しみにしています。
浦本 修三会員
- 11月11日より熊野RCのお世話で選抜大会へ出
場してきました。盛大な前夜祭で盛り上がりまし
た。池本さん、ありがとうございました。
大橋さん、卓話よろしくお願ひします。
長尾 穰治会員
- 大橋会員、本日の卓話よろしくお願ひします。
大松 桂右会員

●今回合計 8,000 円

●累計 334,010 円

会長の時間

先日、出席しました I M 第 4 組の会長・幹事会について報告いたします。

この会は、今年度のロータリーデーについての確認会という内容でした。

ロータリーデーについて簡単に触れておきます。

(2660 地区ロータリー百科事典より)

ロータリーデーとは旧 I M の事で、近隣都市の数クラブが集まって開かれるロータリーの会合。討論の主な内容は、4 大奉仕部門をカバーしつつロータリーの特徴やプログラムなどを検討する。クラブ会員、全員参加のこの会合の目的は、会員相互の親睦と知識を広める事であって、さらに会員にロータリーの情報を伝え、奉仕の理想を勉強するために開催される。テーマは、ロータリーの事、そして一般社会の事で、そのとき話題になっている事、考えなければならない問題点など多岐にわたる。この会合では、知識を広め深めるとともに、グループ、区内の会員の親睦も重要な目的なので、懇親会も併せて開催される。

今年度は、来年 4/8 (土) に東大阪中央 R C がホストクラブで、「わたしたちの奉仕」というテーマを掲げ開催されます。

内容としては、各クラブが、過去実施してきた奉仕活動 (社会奉仕・国際奉仕) の中で良い成果を収めてきたものを規定時間内に紹介するという事を予定されています。

紹介発表の方法については、パワーポイントを利用したプレゼンテーション、ビデオ映像等を流して説明を加える、講演形式でのプレゼンテーション等、

自由との事です。

当クラブでも誰がどのような形でプレゼンをするのか? また、どの活動を取り上げるのか等々の準備を進めなければなりません。

年内には、当クラブの発表概要および参考資料を提出しなければなりません。

皆様のご意見、ご協力をお願いします。

幹事報告

①今週は特にございません。

卓話

「ロータリー財団について」 大橋 秀造 R 財団委員長



正式な名称は「国際ロータリーのロータリー財団」です。1916 年度 (大正 5 年) の R I 会長アーチ・クランプ氏が、1917 年のアトランタ国際大会で、世界的規模で慈善教育、その他社会奉仕の分野で、人類に役立つために「ロータリー基金」を創ることを提案し採択されたのが始まりです。本年はロータリー財団創立 100 周年になります。

この基金に 1918 年の国際大会の余剰金 26 ドル 50 セントが初めての寄付金として寄せられました。寄附総額が 5,700 ドル余りに達した 1928 年 (昭和 3 年) のミネアポリス国際大会で、基金の名称を「ロータリー財団」と改められました。

1947 年 (昭和 22 年) 1 月にロータリーの創始者ポール・ハリスが逝去されたとき、ロータリー財団は、特に「ポール・ハリス記念基金」を設けてロータリアンの寄附を募りました。これに対し、創業者を悼み、その偉大な功績を讃えて全世界のロータリアンからの寄附が続々と集まり、

1947～1948 年度末までに寄付金の合計額は 100 万ドル以上に達し、ロータリー財団はアーチ・クランプ氏の夢を実現する財源を持つことができました。

ロータリー財団は、R I 理事会が選出した管理委員で構成する管理委員会により、管理運営されます。運営は人道的および教育的目的に限定されています。管理委員会は 13 名の管理委員（うち 4 名は R I 元会長）により構成され、財団のプログラムと財務について 1 年に 1 度、R I に報告しなければなりません。R I が受領したすべての贈与、遺贈、国際ロータリーの余剰金は、国際大会の許可を受けてロータリー財団の財産となります。ロータリー財団の目標を助長する明確な手段として次のプログラムを承認しています。

- ・ 教育的プログラム
- ・ 文化交流プログラム
- ・ 研究グループ交換
- ・ 人道的国際プロジェクトのための同額補助金
- ・ 災害救助見舞金
- ・ 保険、飢餓追放および人間尊重補助金
- ・ ロータリーボランティア補助金
- ・ 世界社会奉仕カール・ミラー補助金
- ・ 平和プログラム
- ・ ポリオ・プラス

クラブ内における財団委員会の仕事は二つの全く異なった面を持ちます。財団支援、すなわち財団寄附を募ることと、その資金を活用して財団プログラムに参加することです。



第2660地区
八尾東ロータリークラブ
YAO EAST ROTARY